2011年 電子情報通信学会総合大会　大会特別企画セッション：ＴＫ-2

災害リスクを定量化するプロフェッショナル

－巨大都市のカタストロフィーリスクへの挑戦－

Professionals of Disaster Risk Quantification：Challenge to Catastrophe Risk in Megalopolis

・開催日時：2011年3月15日（火）13：30～16：45（一般無料公開）

・開催場所：東京都市大学 世田谷キャンパス

・オーガナイザー：吉川弘道 東京都市大学 総合研究所（hyoshika@tcu.ac.jp）

開 催 主 旨

高人口密度/高機能を有する近代都市は，自然災害に対してなお脆弱であり，特に，地震，風水害による被災は大きなリスクとなっている．災害ハザード特有の低発生頻度/局地的巨大災害に対しては，その具体的定量的なリスク評価/Risk Quantificationが極めて重要であり，工学/学術/ビジネスの面から多くの進展がみられている．加えて，事業継続計画(BCP)の立場から，災害リスクの定量的評価は大前提となる．

そこで，本企画セッションは，それぞれ専門とする立場から，直面する各種リスクに対して，その定量化とリスクマネジメントという切り口にて実施するものである．このため，先端の研究者/実務者を招聘し，本企画をオーガナイズした．講演者には，‘理論より具体例を’，‘数学的記述より図表による説明’，等々，無理なお願いしていることを付記する．

講 演 内 容

* 主旨説明：吉川弘道 （東京都市大学）
* 講演1：企業の災害リスク評価と事業継続計画(BCP＆DCP)

西川　智 氏（国土交通省）

* 講演2：自然災害のリスク定量化への挑戦　–定量化への現状と課題-

矢代晴実 氏（東京海上日動リスクコンサルティング）

* 講演3：原子力施設の地震に対する残余のリスク評価とリスク低減対策

蛯沢勝三 氏（原子力安全基盤機構）

* 講演4：データセンターの品質評価基準と災害リスク評価の役割

望月智也 氏（イー・アル・エス）

